

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 12 月 5 日 (2019.12.5)

【公開番号】特開 2018-69083 (P2018-69083A)

【公開日】平成 30 年 5 月 10 日 (2018.5.10)

【年通号数】公開・登録公報 2018-017

【出願番号】特願 2017-229114 (P2017-229114)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 4 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

本体枠と、

遊技領域を設けてなる遊技盤と、

前記遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い遊技球を払い出す球払い出し装置と、

当該球払い出し装置により払い出される遊技球を貯留する皿と、

前記本体枠に設けてなる賞球タンクと、

前記球払い出し装置から払い出される遊技球を前記皿へ供給する球供給通路部材と、

上側に向けて開口する 1 条のタンクレール部材と上下方向通路部材とを有するように、前記賞球タンクの下流側に設けられる球通路部材と、

前記賞球タンク内の複数の遊技球を前記タンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊技球を前記賞球タンクに形成してなる後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に前記賞球タンクの底側後部に形成される整流可能部とを具備してなり、

前記タンクレール部材は、前記整流可能部からの遊技球列を流動させるように上流ルール部を形成し、当該上流ルール部を通り流動する前記遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるように屈曲ルール部を屈曲形成するとともに、当該屈曲ルール部をその開口側から塞ぐように設けられる蓋部を有して、当該蓋部により、前記屈曲ルール部の整流機能にあわせて、前記上流ルール部からの前記遊技球列のうちの上層側の遊技球を下層側の遊技球の間に割り込ませるようにして、前記球払い出し装置に達する前に単層の遊技球列に均すようにしてなる均し手段を設けてなり、

当該タンクレール部材において、前記上流ルール部は、その前記後側壁部にて、前記底壁部の後側端部と共に、前記屈曲ルール部に近づく程前記前側壁部側へ徐々に近づくように形成されて、前記賞球タンクの前記後側壁に沿うように流動する前記整流可能部からの前記遊技球列を、前記後側壁部の前記前側壁部側への前記近づくに依りて上下層の一遊技球列に整流可能に流動させ、前記屈曲ルール部は、前記上流ルール部からの前記上下層の一遊技球列を単層の一遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるようになっており、

前記上下方向通路部材は、前記タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させるようになっており、

前記球払い出し装置は、前記上下方向通路部材から順次流下する遊技球を前記球供給通

路部材へ払い出すようになっている遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

上記課題の解決にあたり、本発明に係る遊技機は、請求項 1 の記載によれば、本体枠（Ba）と、

遊技領域（12）を設けてなる遊技盤（Bb）と、

上記遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い遊技球を払い出す球払い出し装置（130）と、

当該球払い出し装置により払い出される遊技球を貯留する皿（310）と、

本体枠に設けてなる賞球タンク（100）と、

球払い出し装置から払い出される遊技球を皿へ供給する球供給通路部材（140）と、

上側に向けて開口する 1 条のタンクレール部材（110）と上下方向通路部材（120）とを有するように、賞球タンクの下流側に設けられる球通路部材（110、120）と

、
賞球タンク内の複数の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊技球を前記賞球タンクに形成してなる後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に前記賞球タンクの底側後部に形成される整流可能部（101c、D、107）とを具備してなり、

タンクレール部材は、整流可能部からの上記遊技球列を流動させるように上流レール部を形成し、当該上流レール部を通り流動する上記遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるように屈曲レール部（110b）を屈曲形成するとともに、当該屈曲レール部をその開口側から塞ぐように設けられる蓋部を有して、当該蓋部により、屈曲レール部の整流機能にあわせて、上流レール部からの上記遊技球列のうちの上層側の遊技球を下層側の遊技球の間に割り込ませるようにして、球払い出し装置に達する前に単層の遊技球列に均すようにしてなる均し手段（110d）を設けてなり、

当該タンクレール部材において、上流レール部は、その上記後側壁部にて、上記底壁部の後側端部と共に、屈曲レール部に近づく程上記前側壁部側へ徐々に近づくように形成されて、賞球タンクの上記後側壁に沿うように流動する整流可能部からの上記遊技球列を、上記後側壁部の上記前側壁部側への上記近づくに依りて上下層の一遊技球列に整流可能に流動させ、屈曲レール部は、上流レール部からの上記上下層の一遊技球列を単層の一遊技球列に整流可能に下流側へ流動させるようになっており、

上下方向通路部材は、タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させるようになっており、

球払い出し装置は、上下方向通路部材から順次流下する遊技球を球供給通路部材へ払い出すようになっている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

これによれば、整流可能部が、賞球タンク内の複数の遊技球を、タンクレール部材に流下させるにあたり、賞球タンクの後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に賞球タンクの底側後部に形成されている。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 1

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

これを前提に、整流可能部が、賞球タンクの底側後部に位置して、賞球タンク内の複数の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊技球を、賞球タンクの後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に整流する。

また、球通路部材のタンクレール部材においては、上流レール部は、賞球タンクの後側壁に沿うように流動する整流可能部からの上下層の遊技球列を後側壁部の前側壁部側への近づきに応じて上下層の一遊技球列となるように整流可能に流動させ、屈曲レール部は、整流可能部からの上下層の一遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動し、均し手段が、屈曲レール部をその開口側から塞ぐように設けてなる蓋部でもって、屈曲レール部の整流機能にあわせて、上下層の遊技球列を球払い出し装置に達する前に単層の遊技球列に均す。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 2

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

然る後、上下方向通路部材が、タンクレール部材からの各遊技球を順次流下させ、球払い出し装置が、遊技領域における遊技球の入賞口への入賞に伴い、上下方向通路部材から順次流下する遊技球を球供給通路部材へ払い出し、そして、球供給通路部材が球払い出し装置により払い出される遊技球を皿へ供給する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 3

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

以上のような構成によれば、整流可能部が賞球タンクの底側後部に形成されることを前提として、タンクレール部材を上述のように構成することで、賞球タンク内に貯留されている遊技球が、多数であっても、球噛みや球詰まり等を招くことなく、球払い出し装置により、はやく円滑に球供給通路部材を通して皿内に払い出され得る。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 4

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 4】

本発明によれば、整流可能部が、賞球タンク内の複数の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、賞球タンクの後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に賞球タンクの底側後部に形成される。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】 明細書

【補正対象項目名】 0 0 1 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【0 0 1 5】

これを前提に、整流可能部が、賞球タンクの底側後部に位置して、賞球タンク内の複数

の遊技球をタンクレール部材に流下させるにあたり、当該複数の遊技球を、賞球タンクの後側壁に沿うように上下層の遊技球列に整流可能に整流し、タンクレール部材において、上流ルール部は、賞球タンクの後側壁に沿うように流動する整流可能部からの上下層の遊技球列を、後側壁部の前側壁部側への近づきに依じて上下層の一遊技球列となるように整流可能に流動させ、屈曲ルール部は、整流可能部からの上下層の一遊技球列を単層の遊技球列に整流可能に下流側へ流動し、均し手段が、屈曲ルール部をその開口側から塞ぐように設けてなる蓋部をもって、屈曲ルール部の整流機能にあわせて、上下層の遊技球列を球払い出し装置に達する前に単層の遊技球列に均す。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0139

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0139】

このため、賞球タンク100内の多くの遊技球が、上記整流可能部により、上述のごとく、上下層の遊技球列に整流されてタンクレール部材110の上流ルール部110aを通り屈曲ルール部110bへ流動すると、当該上下層の遊技球列の各遊技球の流動速度が、屈曲ルール部110bにより、その上流ルール部110a側の開口端部にて良好に緩和される。これにあわせて、上下層の遊技球列が、均し壁部材110dによりその上下方向への均し機能のもとに、単層の遊技球列に近づくように整流され得る。ここで、屈曲ルール部110bの上流ルール部110aに対する下方への屈曲角度及び後方への屈曲角度は、それぞれ、約40度及び35度となっているから、上下層の遊技球列を、単層の遊技球列に、より一層良好に近づけ得る。